



「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

～10チームの参加で大熱戦～ 第69回枕崎市少年野球大会

枕崎市自治公民館連絡協議会主催の少年野球大会が7月27日、28日に開催され、市内各地域の小学生で結成された10チームが熱戦を繰り広げました。

今年は、桜山校区2、立神校区4、枕崎校区2、別府校区2と市内全域からチームが編成され、公民館単独が2チーム、近隣の公民館同士の合同チームが8チームで、それぞれ地域での練習を重ねて大会に参加しました。

決勝戦は大塚チームと枕崎西チームの対決となり、お互いのチームが投手を何人も送り出していた熱戦となりましたが、これを制して枕崎西チームが勝利し、優勝の栄冠を勝ち取りました。（枕崎西チーム：桜木町、高見町、西本町、平田湯、石ヶ嶺の5公民館の合同チーム）

少年野球大会に向けて、それぞれの地域で公民館・育成会の方々が練習を指導し、当日の大会にはテントを立てて地域総出で応援に繰り出し、声援を送っていました。子供たちを



中心に地域のパワーが感じられ、みんなが元気をもらう大会となりました。大会結果は次のとおりです。
優勝：枕崎西チーム 準優勝：大塚チーム
3位：大塚・下野原チーム、枕崎東チーム



夏休み中の小学生の書道の宿題をお手伝いしようと、枕崎高校書道部による夏休みの書道教室が7月24日に開催されました。枕崎高校が地域貢献活動の一環として開いたもので、市内の4つの小学校の3年生から6年生までの児童を対象に募集し、事前に課題の文字の聞き取りも行いました。

～書道部の生徒が小学生の宿題をお手伝い～ 枕崎高校 夏休みの書道教室

当日は、4つの小学校から27人の児童が参加し、最初に書道部員が書いた課題の手本を参加者それぞれに手渡しました。その後、部長の小城紫衣菜さん（3年）と部員の茅野莉愛さん（1年）が子供たちに筆遣いや字の形・大きさなどのポイントを指導すると、子供たちは教わった事をすぐに実践し、書道コンクールなどに提出する作品を書き上げていました。

枕崎高校書道部は部員が4人ですが、市内のイベントなどでパフォーマンスを披露するなど活発に活動しています。また、小城さんが昨年度県書道展で知事賞を受賞するなど、高いレベルを誇っている書道部です。



書道部員の指導で上手に書けました

～中学生が水産高校の実習船で洋上体験～ かつお釣り体験アドベンチャー

「かつお釣り体験アドベンチャー」は、今年で33回目を数え、枕崎の伝統的な漁法である「かつおの一本釣り」が体験できる、中学生に人気の夏休み中の行事です。

鹿児島水産高校の協力で実習船「拓青（たくせい）」に乗り組み、枕崎港から外洋に出て屋久島の西隣の口永良部島近海まで「かつお」を追って一本釣り漁を体験するという、まさに枕崎ならではの内容になっています。

今年も「船内での安全確保」などの事前研修を経て、市内の中学生10人が7月22日早朝に「拓青」に乗り組み、枕崎港を出港して本研修に取り組みました。

当日は晴天に恵まれましたが、台風の影響で波のうねりがあり、口永良部島近海まで行けず枕崎近海での漁となりました。生徒たちは熱い日射しと船酔いと戦いながら、一本釣りに挑戦しました。「かつお」を釣ることはできませんでしたが、マダイやアジ、サバ、イサキなど59匹の釣果で近年にない大漁となり、夏休み中の貴重な体験になりました。



釣り上げた魚を持って笑顔で記念のポーズ

立神中学校では、毎年1年生の総合の時間で郷土学習に取り組んでいますが、今年も枕崎市文化財保護審議会委員の牛山好治さんが、

～歴史の講演と史跡などの現地学習で 「郷土について学ぶ」～立神中学校

学校での講演と史跡などの現地学習指導を行い、1年生31人が郷土について学びました。

5月22日の講演では、枕崎と南方の島々のつながりを中心に話をされ、松之尾遺跡で発見された「ゴホウラ製貝輪」や、立神中学校にある縄文時代の住居跡の遺跡などの話をしました。



山幸彦像の前で火之神公園の伝説を説明

7月4日の史跡などの現地学習では、午前中に硫黄山岩崎寺跡を見学して、枕崎と硫黄島のつながりを学習し、火之神公園での昼食後には、火之山の山幸彦伝説や枕崎のシンボルである立神岩の説明がありました。立神墓地内での「黒島流れ99人溺死の碑」では、「明治28年に枕崎で最大の海難事故『黒島流れ』が起こり、枕崎全体で411人、立神地区で99人の遭難者があった。」などの説明があり、生徒達が慰霊碑を拜っていました。

金山地区公民館が中心になって市内の地区公民館合同で実施する青少年講座「川で遊ぼう」が7月21日に金山の滑川（なめりがわ）付近の花渡川上流で6年振りに行われました。市内各地から応募した小中学生や保護者など参加者33人が、川で泳いだり、ダンマ（手長エビ）を網で捕まえたり、ボートに乗って遊んだり、甌穴群（おうけつぐん）での川遊びを満喫しました。金山地区の方々が川での見守りと調理をしていただき、最後は参加者とスタッフ全員で金山地区公民館隣の広場で、山太郎ガニの味噌汁やカツオの腹皮、ガネ（サツマイモを細く切ったかき揚げ）などをいただき、遊びもお腹も大満足の夏休みの活動になりました。

～金山の花渡川上流で川遊びを満喫～ 地区公民館合同行事「川で遊ぼう」

